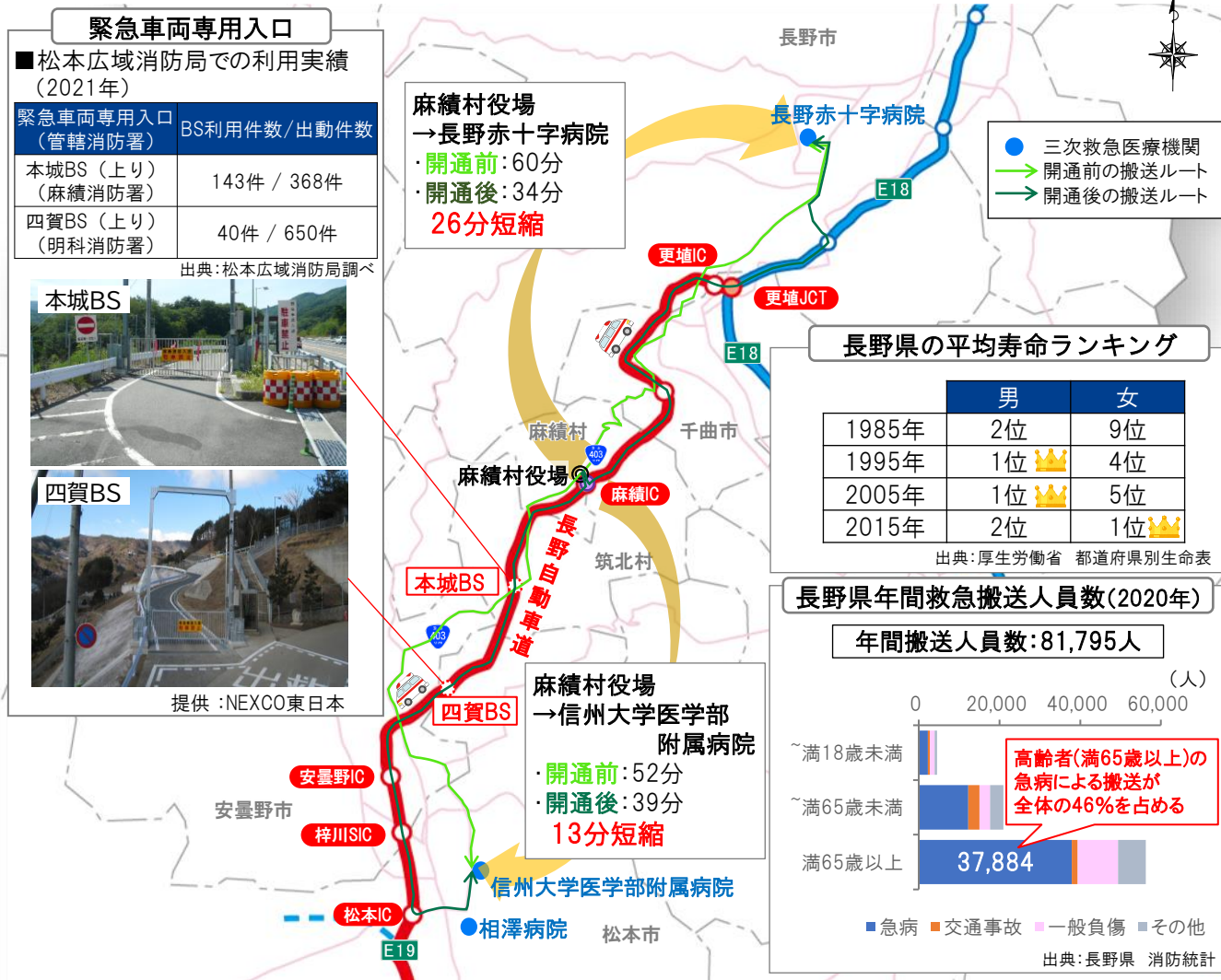


長寿県・長野の救急医療を支える

- 長野県の救急搬送人員数の46%が高齢者の急病によるもの
- 山間部(麻績村)から三次救急医療機関※への救急搬送時間が**最大約26分短縮し、救命率向上に寄与**

※重篤な救急患者を24時間体制で受け入れる体制と高度な診療機能をもつ医療機関

山間部を通行する救急搬送の輸送時間短縮



消防本部の声

長野自動車道を使用することで、現場到着時間及び病院収容時間の大幅な短縮が図られ、救命率の向上に繋がっています。特に梓川スマートIC、四賀BS及び本城BSでの緊急車両入口は病院収容時間の短縮などに、相乗効果を生み出しています。

病院到着までの時間が短縮しました。開通前は山間部を走行しなければなりませんでした。長野自動車道を利用することにより山間部の走行がなくなり、傷病者の傾斜や振動による負担及び機関員(運転手)の心身の負担が軽減し、また、冬季の積雪時においても安定した走行が可能となりました。